安全データシート

作成　2017 年 05 月 31 日
改訂　2021 年 03 月 10 日

1. 製品及び会社情報

製品名　：iDeal ChIP-seq kit for Histones x10
製品コード　：C01010050
Kit の構成
①Protease inhibitor cocktail
②5% BSA (DNA free)
③Rabbit IgG
④ChIP-seq grade antibody H3K4me3
⑤Human GAPDH TSS primer pair
⑥Human Myoglobin exon2 primer pair
⑦Carrier
⑧Glycine
⑨Shearing Buffer iS1
⑩DiaMag Protein A-coated magnetic beads
⑪Wash Buffer iW1
⑫Wash Buffer iW2
⑬Wash Buffer iW3
⑭Wash Buffer iW4
⑮ChIP-seq grade water
⑯Elution Buffer iE2
⑰Lysis Buffer iL1
⑱Lysis Buffer iL2
⑲Wash Buffer1 w/o iso-propanol
⑳Wash Buffer2 w/o iso-propanol
㉑BufferC
㉒Ipure Beads v2
㉓Elution Buffer iE1
㉔5×ChIP Buffer iC1

会社名　：株式会社ダイアジェノード
住所　：富山県富山市荒川 1 丁目 1 番 25 号
電話番号　：076-482-3110
FAX 番号　：076-482-3211

2. 危険有害性の要約

①Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載
GHS 分類　：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 2B
注意喚起語　：警告
危険有害性情報　：H320　眼刺激
注意書き　【安全対策】　P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
【応急措置】　P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

③Rabbit IgG (アジ化ナトリウム)について記載
GHS 分類　：なし
絵表示　：なし
注意喚起語　：なし
物理化学的危険性　：通常の取り扱いでは、危険性は低い
健康有害性　：通常の取り扱いでは、危険性は低い
但し、0.02%アジ化ナトリウムが含まれているため取り扱いは注意する。
環境有害性　：通常の取り扱いでは、危険性は低い
但し、0.02%アジ化ナトリウムが含まれているため取り扱いは注意する。

④ChIP-seq grade antibody H3K4me3 (アジ化ナトリウム、ProClin™ 300 混合物)について記載

GHS 分類	：なし
絵表示	：なし
注意喚起語	：なし
物理化学的危険性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い
健康有害性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い 但し、0.05%アジ化ナトリウム、0.05%ProClin™ 300 が含まれているため取り扱いは注意する。
環境有害性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い 但し、0.05%アジ化ナトリウム、0.05%ProClin™ 300 が含まれているため取り扱いは注意する。

⑪Wash Buffer iW1 , ⑫Wash Buffer iW2 (Triton X-100)について記載

GHS 分類	：なし
絵表示	：なし
注意喚起語	：なし
物理化学的危険性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い
健康有害性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い 但し、≦2%Triton X-100 が含まれているため取り扱いは注意する。
環境有害性	：通常の取り扱いでは、危険性は低い 但し、≦2%Triton X-100 が含まれているため取り扱いは注意する。

⑬Wash Buffer iW3 (塩化リチウム、ノニルフェノールエトキシレート混合物)について記載

GHS 分類	：水生環境急性有害性	：区分 3
危険有害性情報	：H402　水生生物に有害	
注意書き　【安全対策】	P273　環境への放出を避けること。	
【廃棄】	P501　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	

㉓Elution Buffer iE1 (ドデシル硫酸ナトリウム)について記載

GHS 分類	：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分 2A
	特定標的臓器毒性・単回ばく露	：区分 2 (中枢神経系)
	水生環境急性有害性	：区分 3
GHS ラベル要素		
注意喚起語		警告
危険有害性情報	：H319　強い眼刺激	
	H371　中枢神経系の障害のおそれ	
	H402　水生生物に有害	
注意書き　【安全対策】	P260　粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。	
	P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。	
	P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。	
	P273　環境への放出を避けること。	
	P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。	
【応急措置】	P308+P311　ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。	
	P337+P313　眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。	
	P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。	
【保管】	P405　施錠して保管すること。	

㉔5×ChIP Buffer iC1 (Triton X-100、ドデシル硫酸ナトリウム混合物)について記載

GHS 分類	：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分 2A
	特定標的臓器毒性・単回ばく露	：区分 2 (中枢神経系)
	水生環境急性有害性	：区分 2
	水生環境慢性有害性	：区分 3
GHS ラベル要素		
注意喚起語		警告

危険有害性情報　　：H319　強い眼刺激をおこす。
H371　中枢神経系の障害のおそれ
H401　水生生物に毒性
H412　長期的影響により水生生物に有害
注意書き　【安全対策】　P260　粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P273　環境への放出を避けること。
【応急措置】　P308+P311　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】　P405　施錠して保管すること。
【廃棄】　P501　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

①Protease inhibitor cocktail
化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ジメチルスルホキシド	＜100% (w/v)	(CH3)2SO	67-68-5	ジメチルスルホキシド
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

②5% BSA (DNA free) 、⑤Human GAPDH TSS primer pair 、⑥Human Myoglobin exon2 primer pair
⑦Carrier 、⑧Glycine 、⑨Shearing Buffer iS1 、⑩DiaMag Protein A-coated magnetic beads 、⑭Wash Buffer iW4
⑮ChIP-seq grade water 、⑯Elution Buffer iE2 、⑰Lysis Buffer iL1 、⑱Lysis Buffer iL2
⑲Wash Buffer1 w/o iso-propanol 、⑳Wash Buffer2 w/o iso-propanol 、㉑BufferC ,㉒Ipure Beads v2
化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

③Rabbit IgG
化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
アジ化ナトリウム	0.02%(w/v)	NaN_3	26628-22-8	アジ化ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

アジ化ナトリウムは 0.1%未満のため、カットオフとする。

④ChIP-seq grade antibody H3K4me3
化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
アジ化ナトリウム	0.05%(w/v)	NaN_3	26628-22-8	アジ化ナトリウム
ProClin™ 300	0.05%(w/v)	―	55965-84-9	ProClin™ 300
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

アジ化ナトリウム、ProClin™ 300 は 0.1%未満のため、カットオフとする。

⑪Wash Buffer iW1 , ⑫Wash Buffer iW2
化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Triton X-100	≦2%(v/v)	(C2H4O)nC14H22O	9002-93-1	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル
ドデシル硫酸ナトリウム	≦0.2%(w/v)	C12H25O4SNa	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

ドデシル硫酸ナトリウムは 1%未満のため、カットオフとする。

⑬Wash Buffer iW3

化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
塩化リチウム	≦2%(w/v)	LiCl	7447-41-8	塩化リチウム
ノニルフェノールエトキシレート	≦1%(w/v)	$(C_2H_4O)nC_{15}H_{24}O$	9016-45-9	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑱Lysis Buffer iL2

化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
4-(2-ヒドロキシエチル)-1-ピペラジンエタン-1-スルホン酸ナトリウム	≦2%(w/v)	C8H17N2NaO4S	75277-39-3	特になし
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

㉓Elution Buffer iE1

化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ドデシル硫酸ナトリウム	≦1%(w/v)	C12H25O4SNa	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

㉔5×ChIP Buffer iC1

化学物質・混合物　：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Triton X-100	≦10%(v/v)	(C2H4O)nC14H22O	9002-93-1	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル
ドデシル硫酸ナトリウム	≦1%(w/v)	C12H25O4SNa	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

4. 応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合　：多量の水と石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
：データなし

5. 火災時の措置

消火剤　：粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤　：特になし
火災時の特有危険有害性　：火災時に刺激性もしくは有害なガスが発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法　：火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護　：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項　：環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材　：漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 技術的対策　：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気　：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行なう。
- 安全取扱注意事項　：漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
  使用後は容器を密閉する。
  取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
  指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
  取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
  容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
  適切な保護具を着用する。
- 接触回避　：データなし

保管
- 適切な保管条件　：マニュアルを参考にすること。
- 技術的対策　：特になし
- 混触禁止物質　：データなし
- 安全な容器包装材料　：ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度　ACGIH(TLV)　：データなし
　　日本産業衛生学会　：設定されていない
設備対策　：ばく露を防止する為に、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具
- 呼吸器の保護具　：保護マスク
- 手の保護具　：保護手袋
- 眼の保護具　：保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具　：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色)	：無色澄明な液体	②:白黄色の液体	⑩:茶色の懸濁液
	㉑:多様な色の液体	㉒:黒色の懸濁液	
臭い	：無臭	㉑:独特な臭い	
融点・凝固点	：データなし		
沸点、初留点及び沸騰範囲	：データなし		
可燃性	：データなし		
燃焼又は爆発範囲(上限･下限)	：データなし		
引火点	：データなし		
自然発火温度	：データなし		
分解温度	：データなし		
pH	：データなし		
動粘性率	：データなし		
溶解度	：データなし		
n-オクタノール/水分配係数	：データなし		
蒸気圧	：データなし		
密度及び/又は相対密度	：データなし		
相対ガス密度	：データなし		
粒子特性	：データなし		

10. 安定性及び反応性

反応性　：データなし

化学的安定性	：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	：データなし
避けるべき条件	：日光、熱
混触危険物質	：①②⑧㉔:酸化性物質
危険有害な分解生成物	：一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

①Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載

急性毒性	：経口	LD_{50} ＞5,000mg/kg	区分に該当しない
	経皮	LD_{50} ＞5,000mg/kg	区分に該当しない
	吸入	LC_{50} ＞5mg/L/4h	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	：データなし		
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：軽度な眼刺激		区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし		
生殖細胞変異原性	：データなし		
発がん性	：データなし		
生殖毒性	：データなし		
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし		
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし		
誤えん有害性	：データなし		

⑪Wash Buffer iW1 , ⑫Wash Buffer iW2 (Triton X-100)について記載

急性毒性	：データなし		
皮膚腐食性・刺激性	：データなし		
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギ	「強い眼刺激」　含有量 ≦2%	区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし		
生殖細胞変異原性	：データなし		
発がん性	：データなし		
生殖毒性	：データなし		
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし		
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし		
誤えん有害性	：データなし		

⑬Wash Buffer iW3 (塩化リチウム、ノニルフェノールエトキシレート混合物)について記載

急性毒性	：経口	LD_{50}＞5000mg/kg	区分に該当しない
	：経皮	データなし	
	：吸入	データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：LiCl	ウサギ 「皮膚刺激　区分 2」 (含有量 ≦2%)	
	ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ	ウサギ 「皮膚刺激　区分 2」 (含有量 ≦1%)	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：LiCl	ウサギ 「中等度の刺激性　区分 2」(含有量 ≦2%)	
	ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ	ウサギ「中等度の刺激性 区分 2」(含有量 ≦1%)	区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし		
生殖細胞変異原性	：データなし		
発がん性	：データなし		
生殖毒性	：LiCl	マウス 高用量で親動物が死亡。低用量では出生仔及び同腹仔全体で死亡率の増加。区分 2 (含有量 ≦2%)	
	ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ	母動物毒性発現量で同腹児数の減少がみられた。区分 1 (含有量 ≦2%)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：マウス	経口投与試験 後肢麻痺や死亡を伴う昏迷、筋脱力、筋痙縮が観察された。区分 2 (神経系) (含有量 ≦2%)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：ラット	反復投与試験 投与後 3-5 日に傾眠とし眠、次いで筋振戦、衰弱が見られ、2-3 週間以内に死亡した。	
	イヌ	反復経口投与試験 組織学的に遠位曲尿細管と集合管の障害を含む腎臓障害が観察された。区分 2 (神経系、腎臓) (含有量 ≦2%)	区分に該当しない
誤えん有害性	：データなし		

㉓Elution Buffer iE1 (ドデシル硫酸ナトリウム)について記載

急性毒性	：経口	ラット　LD_{50}＝1200mg/kg　含有量 ≦2%	区分に該当しない
	：経皮	ウサギ　LD_{50}＝200 mg/kg　含有量 ≦2%	区分に該当しない

	：吸入　データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：ウサギ　「皮膚刺激: 区分 2 （含有量 ≦2%)」	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギ　「非可逆的な症状の観察: 区分 1 （含有量 ≦2%)」	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：呼吸器感作性：データなし	
	：皮膚感作性　：モルモット　Maximization 試験：陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	：生殖細胞 in vivo 変異原性試験　小核試験：陰性	区分に該当しない
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：ヒトの生殖影響に関する情報はない。	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められた。　区分 1　含有量 ≦2%	区分 2 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。区分 2 (肝臓)　含有量 ≦2%	区分に該当しない
誤えん有害性	：データなし	

⑭5×ChIP Buffer iC1 (Triton X-100、ドデシル硫酸ナトリウム混合物)について記載

急性毒性	：経口　LD_{50}＞5000mg/kg	区分に該当しない
	：経皮　LD_{50}＞5000mg/kg	区分に該当しない
	：吸入　データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：ﾄﾞﾃﾞｼﾙ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ: ウサギ「皮膚刺激: 区分 2 （含有量 ≦1%)」	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ﾄﾞﾃﾞｼﾙ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ: ウサギ「非可逆的な症状の観察: 区分 1 （含有量 ≦1%)」	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：呼吸器感作性：データなし	
	：皮膚感作性　：モルモット　Maximization 試験：陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	：生殖細胞 in vivo 変異原性試験　小核試験：陰性	区分に該当しない
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：ヒトの生殖影響に関する情報はない。	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められた。　区分 1　含有量 ≦1%	区分 2 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。区分 2 (肝臓)　含有量 ≦1%	区分に該当しない
誤えん有害性	：データなし	

12. 環境影響情報

①Protease inhibitor cocktail (ジメチルスルホキシド)について記載

生態毒性	：魚類(ニジマス)　LC_{50}＞100mg/L/96h	水中環境急性有害性：区分に該当しない
残留性・分解性	：データなし	
生体蓄積性	：データなし	水中環境慢性有害性：区分に該当しない
土壌中の移動性	：データなし	
オゾン層への有害性	：データなし	

⑪Wash Buffer iW1 , ⑫Wash Buffer iW2 (Triton X-100)について記載

生態毒性	：魚類(ブルーギル)　LC_{50}=3mg/L/96H　含有量 ≦2% 水中環境急性有害性：区分に該当しない	
残留性・分解性	：急速分解性なし	
生体蓄積性	：データなし	水中環境急性有害性：区分に該当しない
土壌中の移動性	：データなし	
オゾン層への有害性	：データなし	

⑬Wash Buffer iW3 (塩化リチウム、ノニルフェノールエトキシレート混合物)について記載

生態毒性	： LiCl：魚類（Ptychocheilus lucius) LC_{50}=17mg/L/96H　含有量≦2% ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ：甲殻類（ミシッドシュリップ) LC_{50}=0.71mg/L/48H　含有量≦1% 水生環境急性有害性：区分 3
残留性・分解性	：ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ：急速分解性がない。(0% by BOD)
生体蓄積性	：ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙｴﾄｷｼﾚｰﾄ：魚類（ファットヘッドミノー）NOEC = 1mg/L/7H 水生環境急性有害性：区分に該当しない
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし

㉓Elution Buffer iE1 (ドデシル硫酸ナトリウム)について記載

生態毒性	: 甲殻類(アカルチア)　EC50/LC50=0.12mg/L /96H　含有量 ≦2% 水生環境急性有害性：区分 3
残留性・分解性	: 急速分解性が有り（85.0% by BOD、99.3% by TOC）
生体蓄積性	: 甲殻類（ネコゼミジンコ）NOEC = 0.88 mg/L 水生環境慢性有害性：区分に該当しない
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

㉔5×ChIP Buffer iC1 (Triton X-100、ドデシル硫酸ナトリウム混合物)について記載

生態毒性	: Triton X-100：魚類(ブルーギル)　LC_{50}=3mg/L/96H　含有量 ≦10% ﾄﾞﾃﾞｼﾙ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ: 甲殻類(アカルチア)　EC50/LC50=0.12mg/L /96H　含有量 ≦1% 水生環境急性有害性　区分 2
残留性・分解性	: Triton X-100：急速分解性なし ﾄﾞﾃﾞｼﾙ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ: 急速分解性が有り（BOD 分解度＝85.0%、TOC 分解度＝99.3%）
生体蓄積性	: Triton X-100：データなし ﾄﾞﾃﾞｼﾙ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ: 甲殻類(ネコゼミジンコ)　NOEC = 0.88 mg/L 水生環境慢性有害性：区分 3
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に処分する事。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID　規制されていない
海上規制情報	: IMO　規制されていない
航空規制情報	: ICAO/IATA　規制されていない
国内規制	
陸上規制情報	: 規制なし
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

ジメチルスルホキシドについて記載

消防法	: 危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

Triton X-100 について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 No.308

ドデシル硫酸ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 No.275

塩化リチウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

ノニルフェノールエトキシレートについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 No.410

16. その他の情報

・引用　化学物質総合情報提供システム　Chemical Risk Information Platform (CHRIP)
http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces
原料試薬供給先から提供された SDS

＊本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
＊新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
＊記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
＊特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。